

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

-  **警告** ●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
-  **注意** ●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

-  **ポイント**
 - 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
 - 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
- ※
 - 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
 - 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
-  **補足** ●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>

 **警告**

- 門扉は人や車が入り出すためのものです。構造によって開閉する方法が異なりますので、設置の場所・目的に合わせて選択してください。

 **注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。

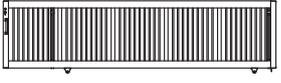
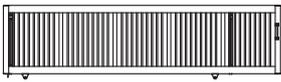
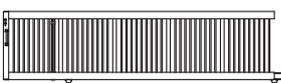
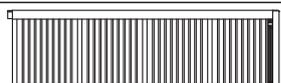
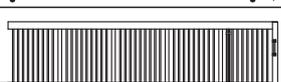
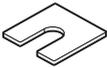
<施工上のご注意>

 **注意**

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
- 扉走行床面は水平に仕上げてください。
- 電装商品の場合は配線工事を有資格者の専門業者にご依頼ください。
- 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

■梱包明細表

【1】本体セット

名 称	略 図	員 数			
		片引き (単独)	片引き (連結)	両引き (単独)	両引き (連結)
引戸本体 (掛)		1	—	1	—
引戸本体 (受)		—	—	1	—
連結用引戸本体側 (掛)		—	1	—	1
連結用引戸連結側 (掛)		—	1	—	1
連結用引戸本体側 (受)		—	—	—	1
連結用引戸連結側 (受)		—	—	—	1
転倒防止金具		4	6	8	12
落とし棒受けパイプ		2	2	4	4
前ストッパー (G.L.)		1	1	2	2
スペーサー		2	2	4	4
後部ストッパー (G.L.)		1	1	2	2
【1-1】 M10×40グリップアンカー		2	2	4	4
【1-2】 M10×25六角ボルト		2	2	4	4
【1-3】 M10バネ座金		2	2	4	4
【1-4】 M10平座金		2	2	4	4
【1-5】 φ10×60オールアンカー		2	2	4	4
【1-6】 M6×15座金組込六角ボルト (PW+SW)		8	12	16	24
【1-7】 M6×20座金組込六角ボルト (PW+SW)		—	8	—	16
【1-8】 M8×20座金組込六角ボルト (PW+SW)		—	2	—	4
【1-9】 φ5×16トラスタッピンネジ		—	1	—	2
取付説明書<D359>	—	1	1	1	1
取扱説明書<UD068>	—	1	1	1	1

1. 姿図および基本寸法

1-1 片開き (A・Bタイプ)

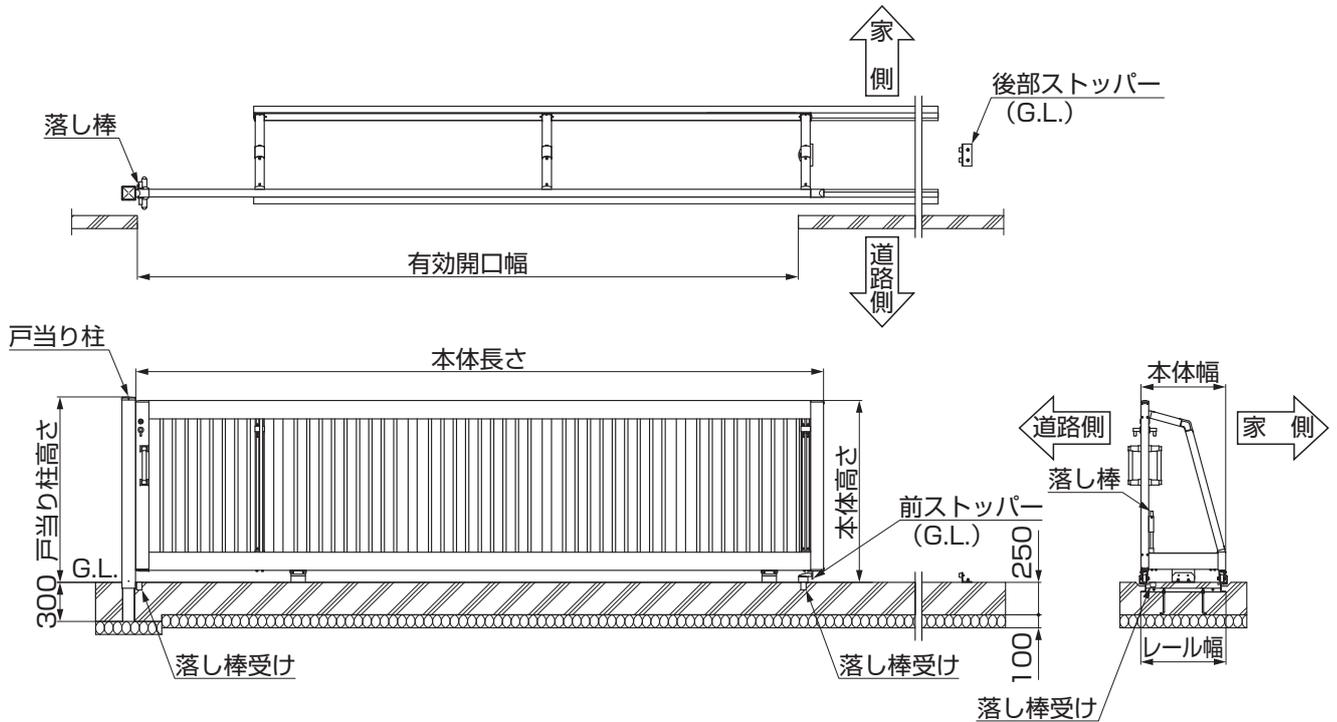


表1-1

	有効開口幅	本体長さ		本体高さ	本体幅	レール幅	戸当り柱高さ
W30	3000	3205	H08	800	647.5	650	828
W40	4025	4230	H10	1000	647.5	650	1028
W50	5050	5255	H12	1200	647.5	650	1228
W60	6075	6280	H14	1400	647.5	650	1428
W70	7100	7305	H16	1600	747.5	750	1628
W80	8125	8330	H18	1800	747.5	750	1828
W90	9150	9355					
W100	10175	10380					

1. (つづき)

1-2 片開き (Cタイプ)

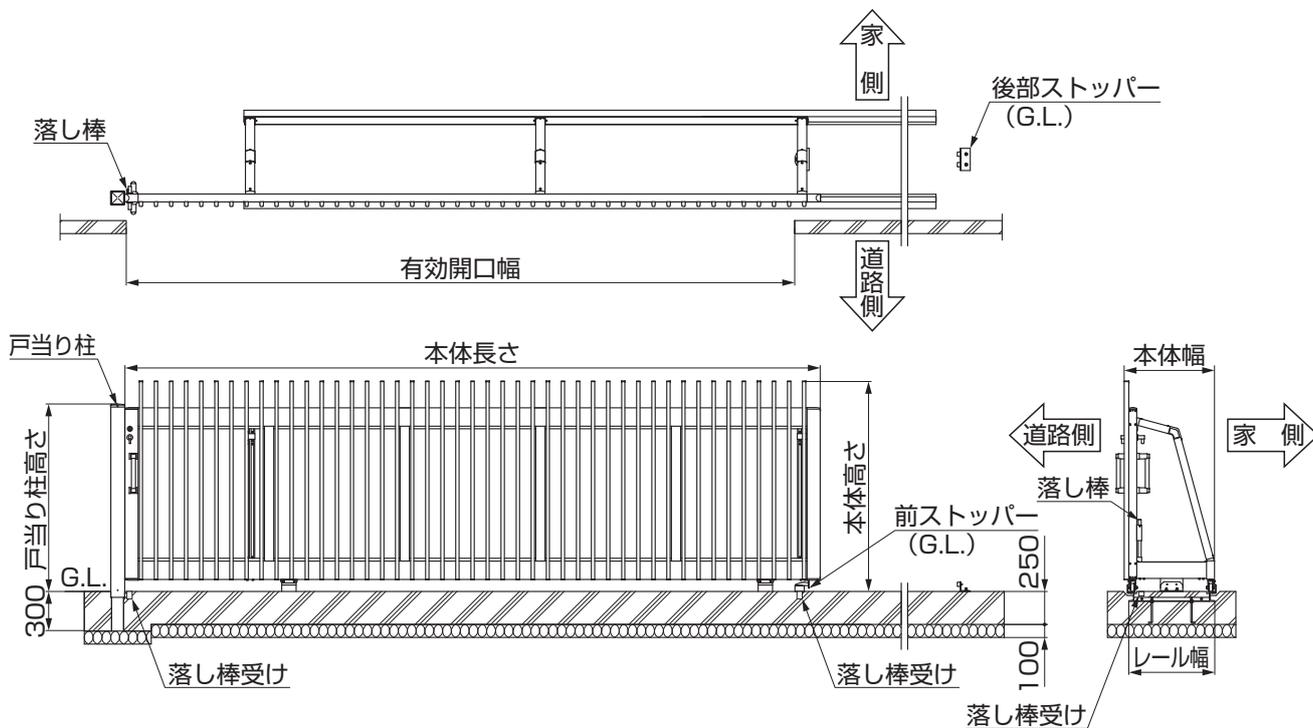


表1-2

	有効開口幅	本体長さ		本体高さ	本体幅	レール幅	戸当り柱高さ
W30	3000	3205	H10	1000	683	650	828
W40	4025	4230	H12	1200	683	650	1028
W50	5050	5255	H14	1400	683	650	1228
W60	6075	6280	H16	1600	683	650	1428
W70	7100	7305	H18	1800	783	750	1628
W80	8125	8330	H20	2000	783	750	1828
W90	9150	9355					
W100	10175	10380					

1-3 両開き (A・Bタイプ)

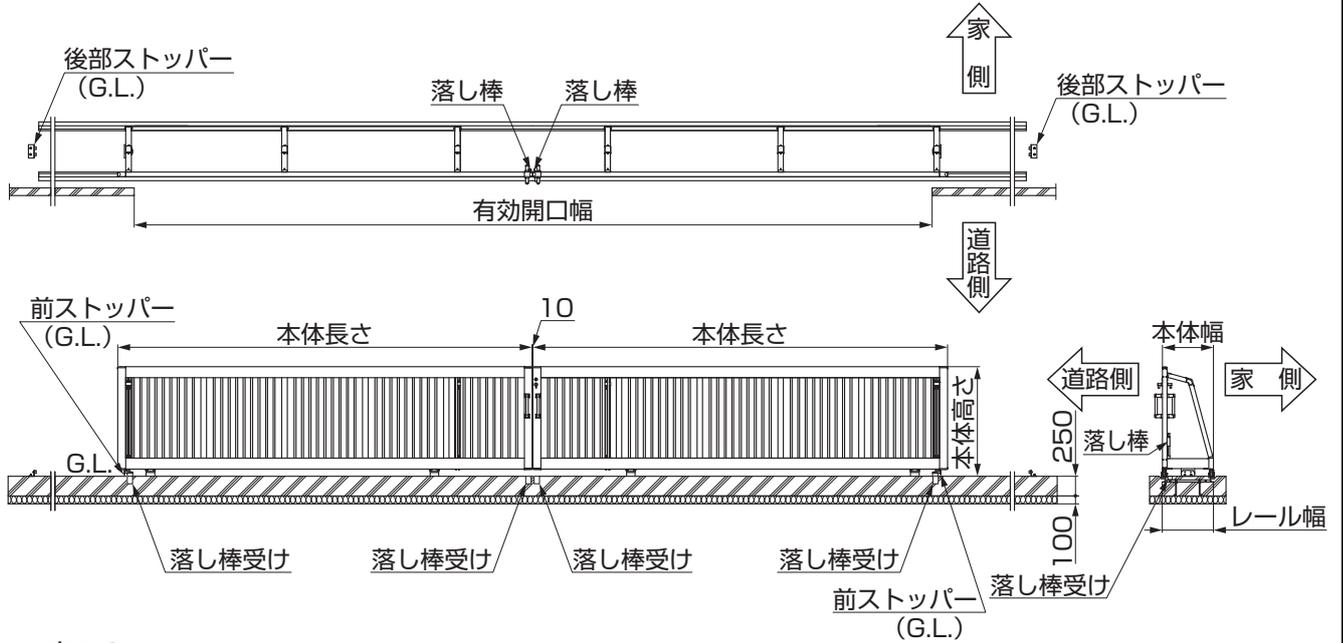


表1-3

	有効開口幅	本体長さ		本体高さ	本体幅	レール幅
W30-30	6018	3205	H08	800	647.5	650
W40-40	8068	4230	H10	1000	647.5	650
W50-50	10118	5255	H12	1200	647.5	650
W60-60	12168	6280	H14	1400	647.5	650
W70-70	14218	7305	H16	1600	747.5	750
W80-80	16268	8330	H18	1800	747.5	750
W90-90	18318	9355				
W100-100	20368	10380				

1. (つづき)

1-4 両開き (Cタイプ)

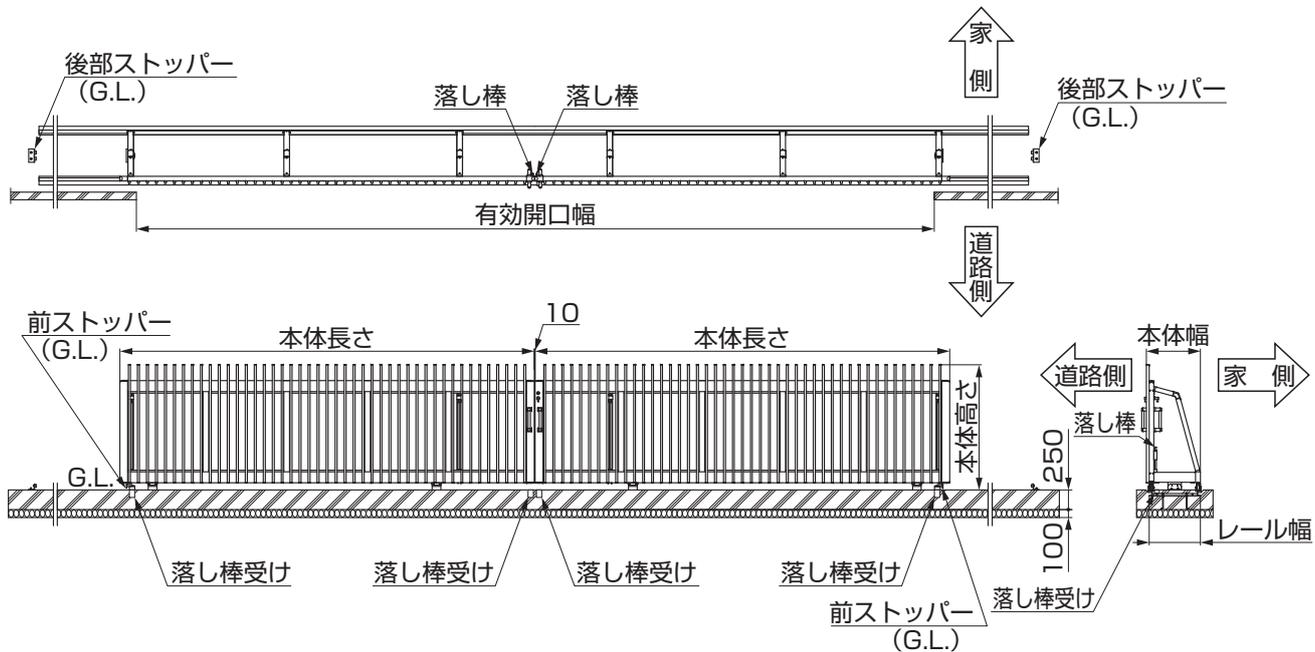
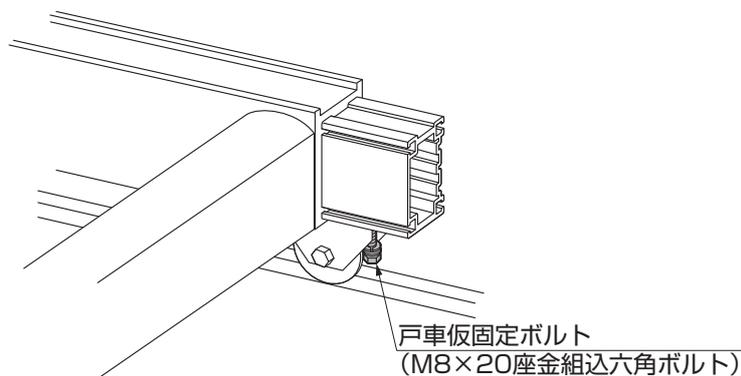


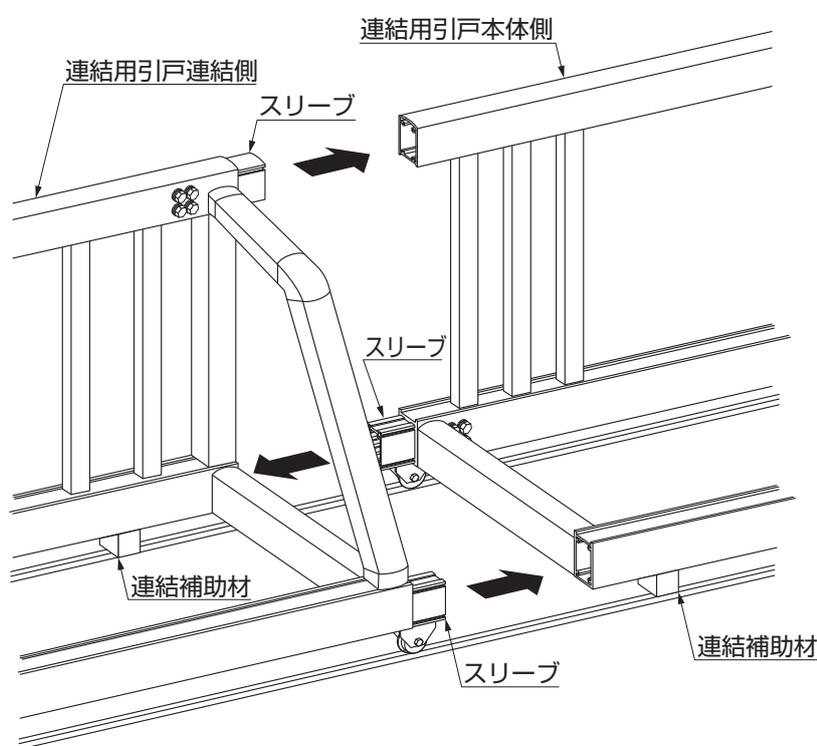
表1-4

	有効開口幅	本体長さ		本体高さ	本体幅	レール幅
W30-30	6018	3205	H10	1000	683	650
W40-40	8068	4230	H12	1200	683	650
W50-50	10118	5255	H14	1400	683	650
W60-60	12168	6280	H16	1600	683	650
W70-70	14218	7305	H18	1800	783	750
W80-80	16268	8330	H20	2000	783	750
W90-90	18318	9355				
W100-100	20368	10380				

2. 本体の連結 ※連結仕様のみの作業です。



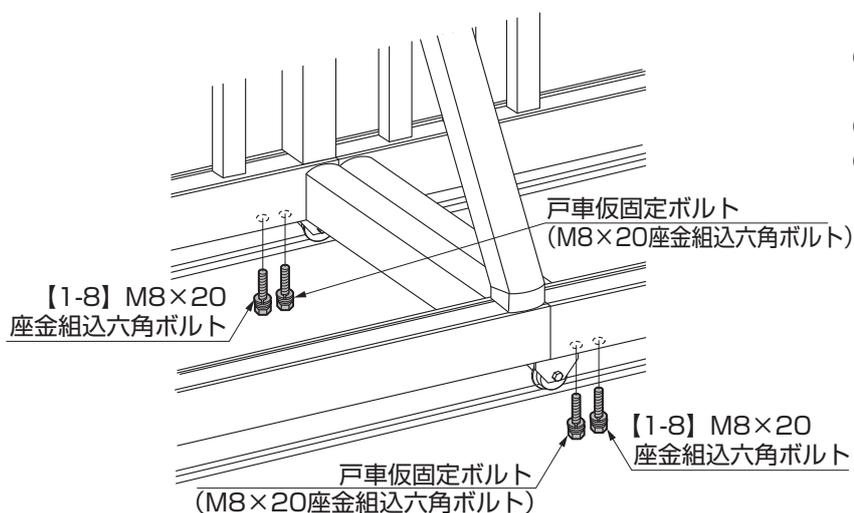
①戸車仮固定ボルトを緩めて取外してください。



②連結用引戸本体側から突起しているスリーブを連結用引戸連結側に連結用引戸連結側から突起しているスリーブを連結用引戸本体側にそれぞれ差込んでください。

ポイント

- スリーブを差込むときは、連結用引戸連結側を動かして差込んでください。
- 連結用引戸本体側はブレーキ機構が付いているため把手を傾けブレーキを解除しないと動かせません。

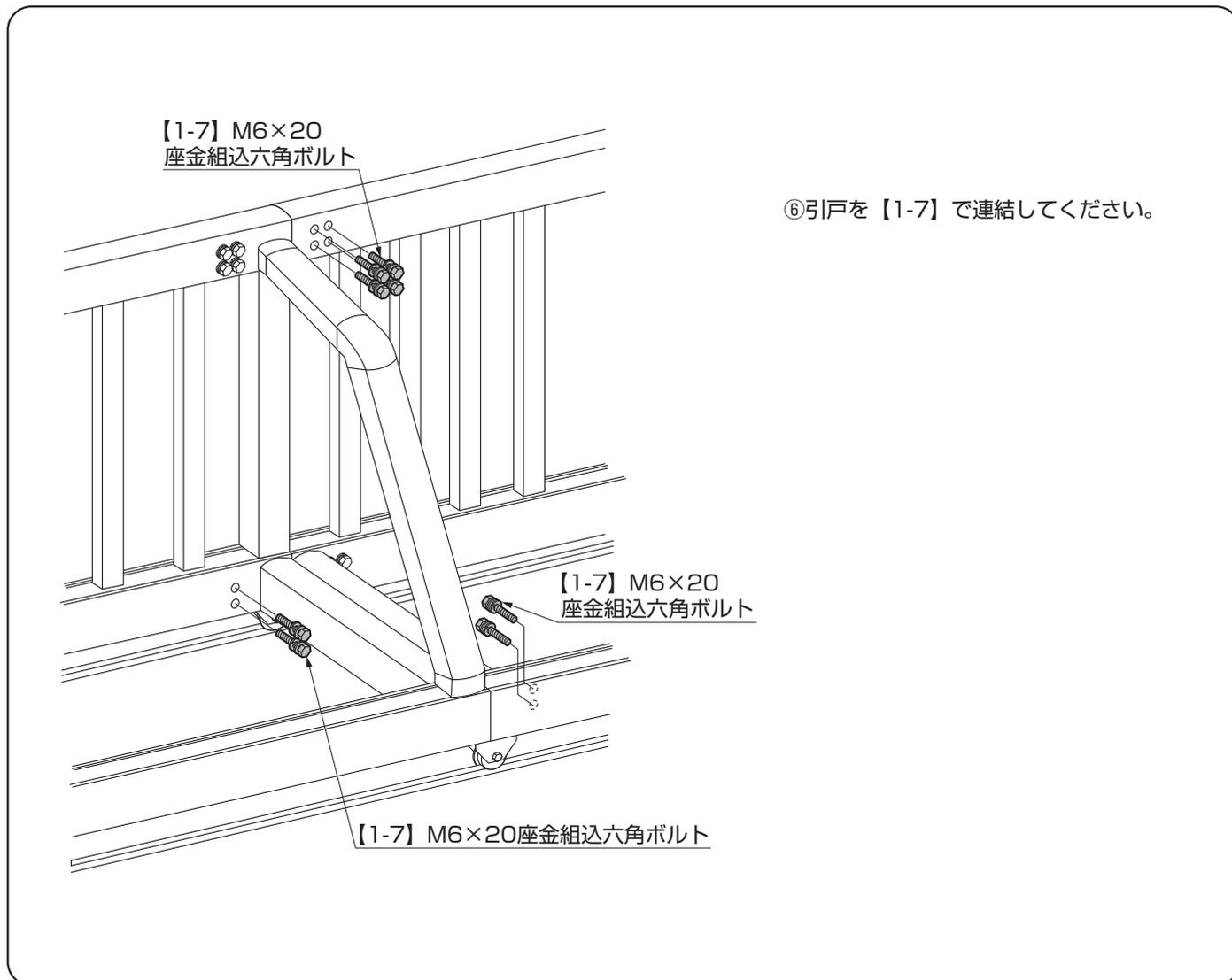


③戸車を①で取外した戸車仮固定ボルトで取付けてください。

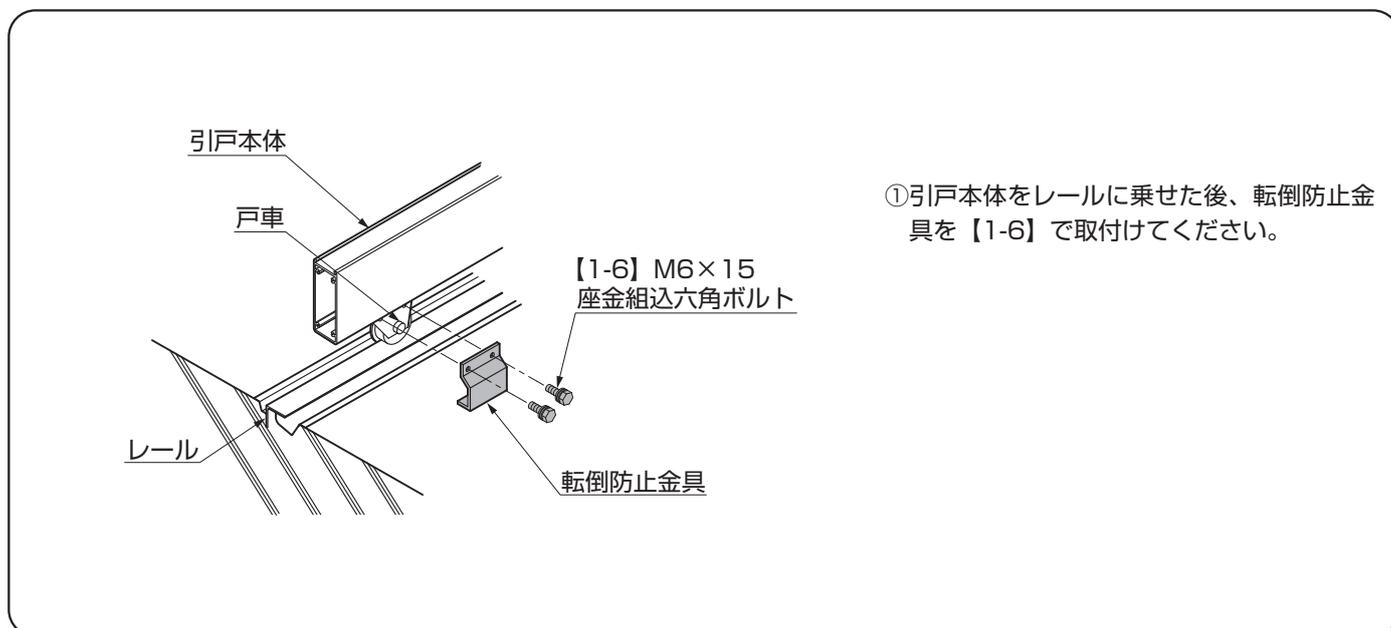
④連結補助材を外してください。

⑤引戸を【1-8】で連結してください。

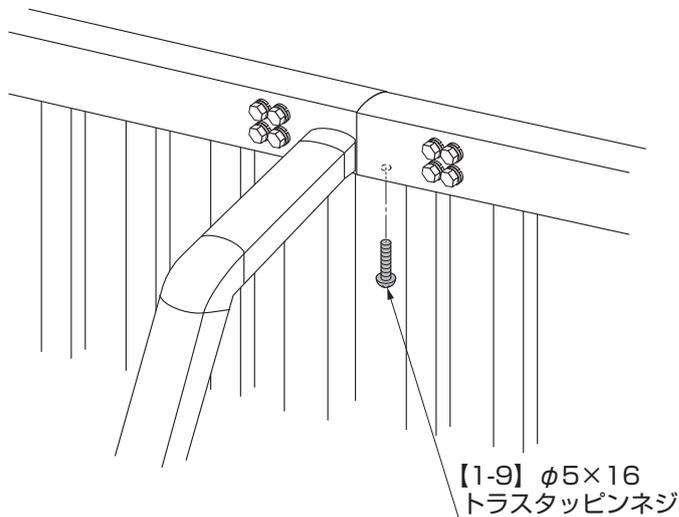
2. (つづき)



3. 転倒防止金具の取付け

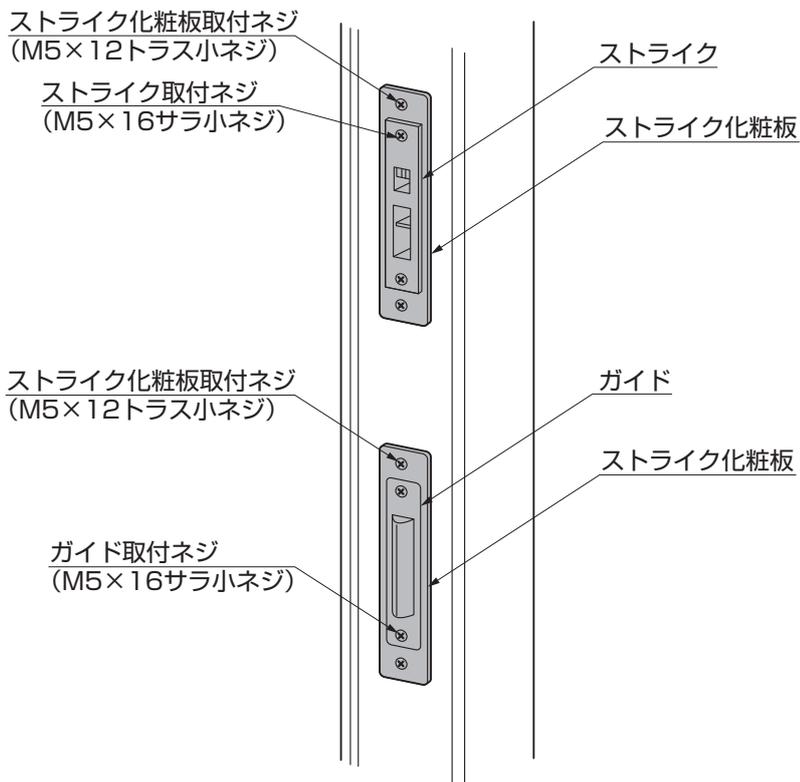


4. パネル端部の連結 ※Bタイプ・Cタイプ連結仕様のための作業です。



①パネル端部を【1-9】で連結してください。

5. ストライク（錠受け）の調整

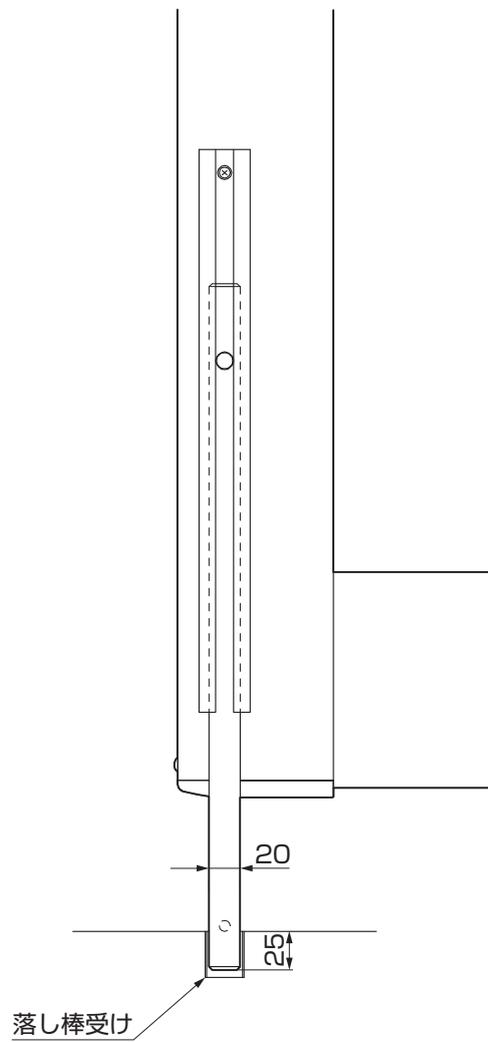


- ①施工終了後、「ストライク取付ネジ」2個と「ストライク化粧板取付ネジ」4個と「ガイド取付ネジ」2個を緩めてください。
- ②ストライク、ガイド、引戸本体側の錠本体、引戸本体側のガイド受けの位置が合うように調整してください。
- ③調整が終わったら、各ネジを締めて固定してください。

ポイント

- ストライク本体のネジは、外さないでください。
- ネジを外してしまうと裏板が外れ落ちてしまいますので絶対に外さないようにしてください。

6. 落とし棒受けの取付け



- ① 落とし棒受けは、引戸を全閉状態と全開状態で、落とし棒が落とし棒受けに入る位置に各々埋込んでください。

7. 前後ストッパーの取付け

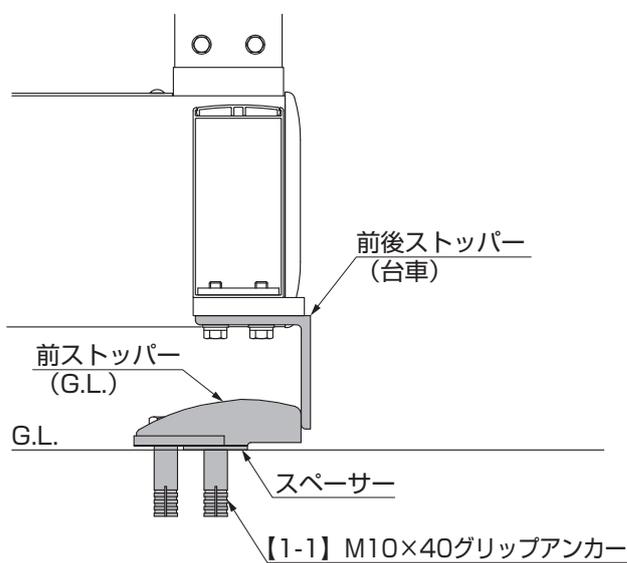
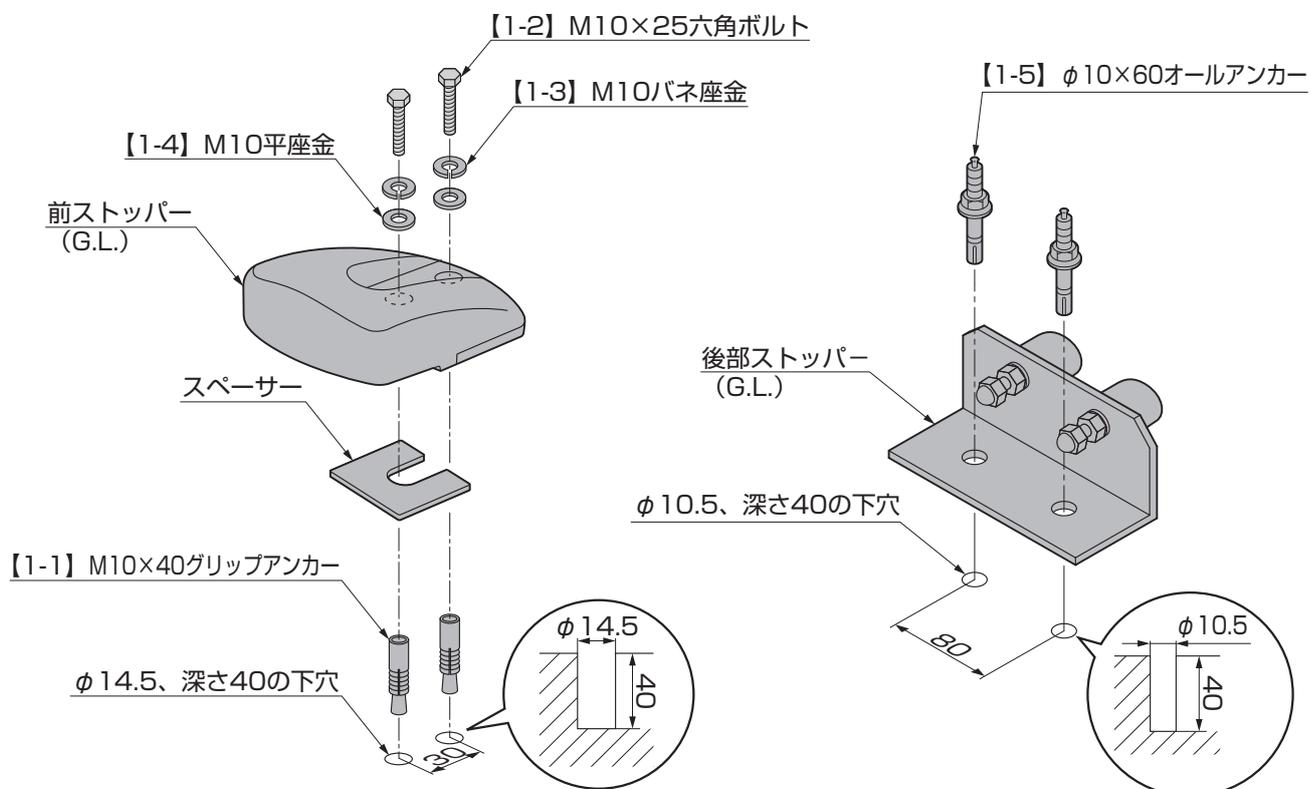


図7-1 全閉時

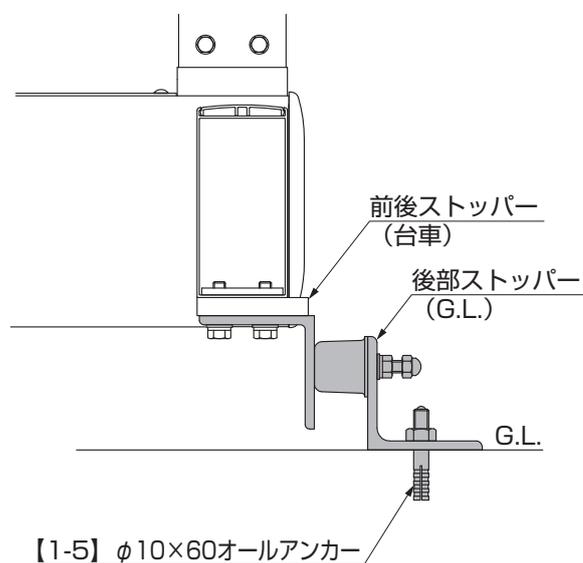


図7-2 全開時

①前ストッパー、後部ストッパーは本体が組上がった後、現場の納まりに合わせて固定してください。

ポイント

- 前後ストッパーと前ストッパー、後部ストッパーがそれぞれきちんと当たる位置に施工してください。
- ボルト、ネジ類は、ガタつきのないよう確実に締付けてください。

